



徳成寺 寺ともから版 第182号 2022年 2月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

コロナウィルスがまた急激に感染拡大し始めました。

残念ながら、今月の寺ともサービスも中止を余儀なくされ

ました。この先も全く見通せなくなって参りました。そんな時に

東ちづるさんが、仰っていた言葉が心に残りましたのでご紹介します。

「焦らないこと・あきらめないこと・無理しないこと・頑張らないこと」

この4つの言葉をモットーにして、「まぜこぜ」の共生社会作りの活動に

取り組まれているそうです。コロナ禍の波が寄せてはかえす今だからこそ、

この4つの言葉が生き抜くヒントにきこえました。決して焦らず、決して無理して

頑張らず、でも決してあきらめない。したたかに生き抜いて参りましょう

*昨年末の、歳末たすけあい募金は 10,789 円集まり NHK 高松を通じて寄付致しました。

-発行責任者-

住職

大山健児

坊守

大山ひびみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。

オミクロン株が蔓延する少し前に新番丁小学校で、旧二番丁小学校の時代に埋めたタイムカプセルの開封式がありました。当時小学3年生の大山少年は未来の自分に何を思っていたのかが気になったので、仕事の合間を縫って開封に立ち会う事にしました。ところが、タイムカプセル事業を取り仕切っていた当時の自治会長がこの事業にける熱い想いを30分程語っておられました。結果として、私はタイムカプセルの中身を見ることなく仕事に戻っていくことになりました。私自身も話術が未熟で話が長くなることがあるのでこの事を教訓にして簡潔な話を心がけたいと思いました。ただ、長い話をじっくり聞いて良かったこともあります。なんとこのタイムカプセル、2月末まで二番丁コミュニティセンターにて保管されているそうです。1989年4月2日～1995年4月1日生まれで二番丁小学校に通っていた卒業生は希望すればタイムカプセルの中身を持って帰れるそうです。読者の方でもし該当する方がいらっしゃったら是非お問合せしてみてください。

